

令和7年度 園芸科「農業と環境」シラバス

単位数	5単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	農業と環境（実教出版）	副教材等	トウモロコシノート、自作プリント

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

(2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 1 農業・環境学習とは何か	①農業と環境の関わり ②生物を育てる学習 ③環境を調べる学習	・世界の農業・環境の事例の図をみながら相互の関係を理解する。	ワークシート ワークシート
5	2 農業と環境の学び方	①プロジェクト学習 トウモロコシ栽培 ②学校農業クラブ活動	・みずから作物を育て、栽培に関する基礎知識や調査を行う方法を身につける。 ・中学校まで学んできた学習の仕方と違うことを認識する。	ワークシート ワークシート ワークシート 学習ノート 行動観察
6	第2章 1 人間と植物・動物とのかかわり	①太陽エネルギーを地球にとどめる植物 中間考査	・農業学習の楽しさ・すばらしさを学ぶ。 ・「農業と環境」の学習法としてプロジェクト学習法が有効であることを理解する。	ワークシート
7			・トウモロコシの特性や生育段階に応じた管理作業の手順や内容を理解する。 ・農業クラブ活動の目標や組織について知る。 ・太陽が生物活動の根源活動の根源的存在であることを認識する。 ・光合成の原理を理解する。	
9	3 日本の農業・農村と食糧供給	①日本の農業を支える自然環境 ②日本の農業・農村の姿 ③日本の農業生産技術の特色 ④食料の流通・消費と食品産業 ダイコンの栽培 中間考査	・日本の農業技術とそれを支える自然環境の特徴を理解する。 ・農業人口、農業経営、農地の利用形態を理解する。 ・住んでいる地域の農業の実態を考えてみる。 ・日本の生産技術の特色や近代農業生産技術の問題点とその克服。 ・食品産業の現状を知り、食生活のあり方を考える。 ・ダイコンの特性や生育段階に応じた管理作業の手順や内容を理解する。	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート 行学習ノート 動観察
10			・食品産業の現状を知り、食生活のあり方を考える。 ・農業が国土や環境の保全に果たす役割を学ぶ。 ・地球環境問題を学ぶ。 ・環境を悪化させない農業の仕方を学ぶ。	ワークシート ワークシート ワークシート
11	4 農業と国土・環境の保全	④食料の流通・消費と食品産業 ①自然生態系と農業生産 ②地球環境と農業	・自然生態系の回復と再生及び農業環境の整備について学ぶ。	ワークシート ワークシート

1 2		③農業の国土・環境保全機能 ④農業・地球環境の見直し ⑤環境と調和した農業 ダイコンの栽培 農業鑑定 期末考査	・環境保全型農業について学ぶ。 ・実物を見て名称や用途を理解する。	ワークシート ワークシート 学習ノート 行動観察
1	5 農業・農村の役割	①食料の生産・供給機能 ②地域活性化の原動力 ③農業・農村の介護・福祉・教育的機能 ④文化の形成と継承 ⑤都市と農村の交流 6 これからの農業・農村	・農業・農村の持つ社会便益的な機能と役割を学ぶ。 ・農村の持つ多面的な機能と役割を学ぶ。 ・農業の機能として、経済的、社会的、文化的側面を学ぶ。 ・対流、生産者と消費者の連携。	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート
2		①農業とエネルギー ②バイオマスエネルギーの活用 ③これからの社会と農業 ④持続可能な農業の維持と発展 ⑤私たちのなすべきこと	・農業や農村をとりまく課題を整理し、これからの農業のあり方を考える。 ・農村のあり方について学ぶ。 ・持続可能な農業・環境保全型農業について学ぶ。	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート
3		期末考査		ワークシート

3 評価の観点

知識・技術	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解している。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協同的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的活協同的に取り組んでいる。

4 評価の方法

「知識・技術」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」，の3観点から評価規準に従い，総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ

・出席を常に行ってください。 ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。 ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。 ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。 ・実習ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。 ・教科書や実習着を忘れないでください。 ・安全に配慮して、実習してください。
